

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-56	小学校	算数科	算数	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・301 算数・302	新しい算数 3上 新しい算数 3下	考えるっておもしろい! 考えるっておもしろい!	

1. 編修の基本方針

豊かな学びが未来を拓く

私たちは、子どもたちに、予測困難な未来の社会に主体的に関わり、自立した人間として幸福な人生とよりよい社会を実現してもらいたいと願っています。

そして、算数科に対しては、数学的な視点から物事をとらえ、統合的・発展的に考えることに加えて、創造性を追求したり、自他の価値を尊重し真理を求め続けたりする態度などを培うことが期待されていると考えます。

本教科書は、教育基本法の理念を踏まえ、算数科における主体的・対話的で深い学びを具現化し、未来を拓くために必要な資質・能力の育成をめざして編集しました。

特色

1

考えることが、
ますます
楽しくなる

数学的な見方・考え方を働かせ、
学びをつなぎ、深める。
そして、考えることを楽しむ。
このような学習過程の実現を
めざしました。

特色

2

学んだことを、
いろいろ
生かすことができる

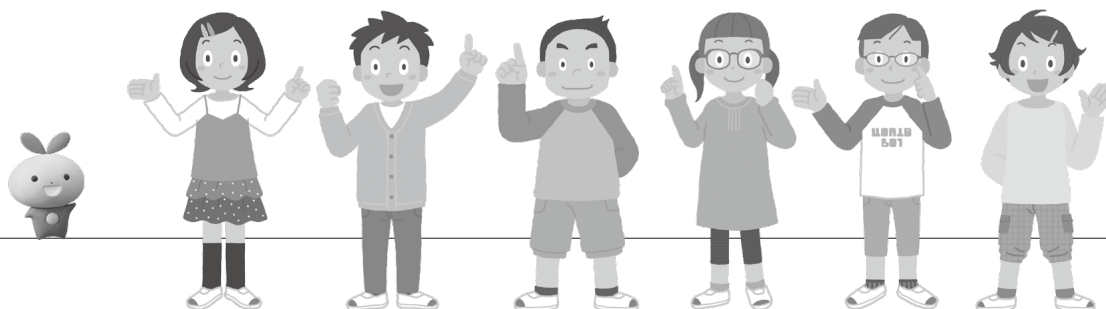
学んだことを、算数の学習や身
近な問題の解決に生かし、生き
て働く知識や技能に熟達する。
学びを生かす力の育成をめざし
ました。

特色

3

これからも、
どんどん
学び続けたいくなる

学びをふり返り、学びの価値や
自身の成長を実感し、新たな課
題をつくり出す。
粘り強く学ぶ心、学び続ける心
を強くすることをめざしました。



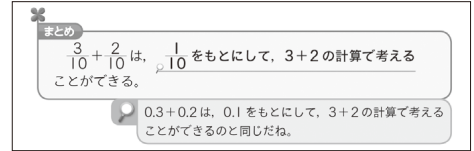
特色

考えることが、ますます楽しくなる

1 授業の「まとめ(🍀)」で、数学的な見方・考え方(🔍)も価値づけます

各時の授業の出口である授業のまとめでは、用語の意味や計算方法など知識や技能だけではなく、問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を、🔍を付して価値づけました。数学的な見方・考え方を意識することで、深い学びやより確実な理解につながり、考えることがますます楽しくなります。

なお、問題解決の過程においては、まとめで価値づける数学的な見方・考え方の伏線となる補助発問(①)や吹き出しにも🔍を付しています。



(下 p.46)

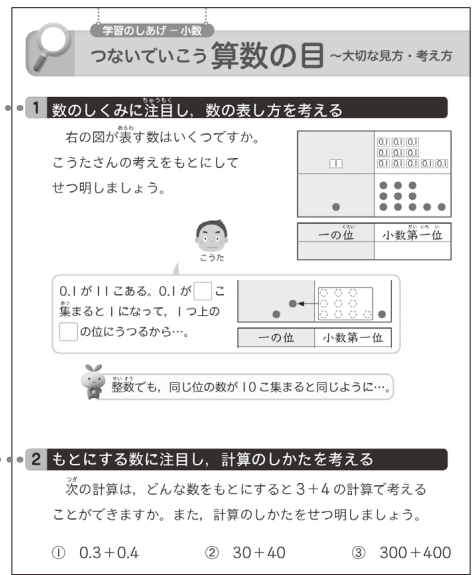
2 単元末でも、数学的な見方・考え方を価値づけます

単元末では、特に成長させたい数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返るページ「つないでいこう 算数の目」を新設しました。

学習の出口を、答えを求められるかの確認にとどめることなく、数学的な見方・考え方の成長を支えます。

また、ご指導経験の浅い先生も、本ページを参照することで、本単元で成長させたい数学的な見方・考え方をつかみやすく、教材研究の効果・効率の向上を支援します。

各問題のタイトルでは、何に注目し、何を考えるのかを明示しています。



(下 p.20)

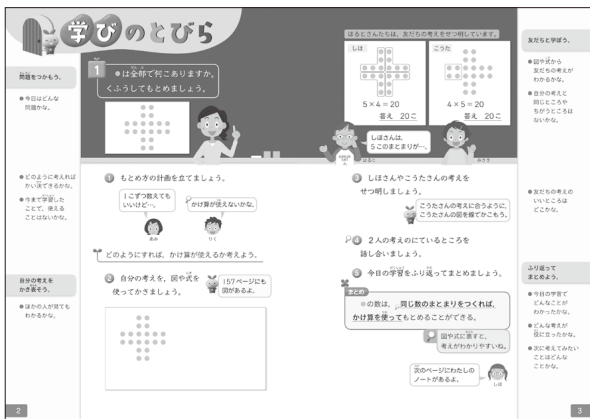
特色

2 学んだことを、いろいろ生かすことができる

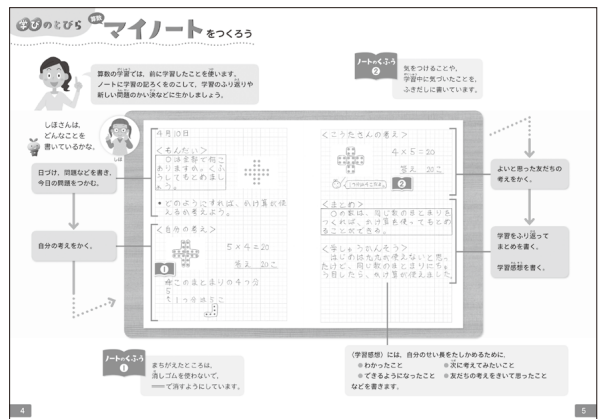
1 巻頭ページ「学びのとびら」で、“学び方”をふり返ります

問題解決の過程における大切な視点やノートづくりについて、前学年の学習を題材とした実際の授業を通して振り返ることができるようにしました。

このことにより、第2学年までに培った学び方を、第3学年での学び方につなぎ、生かすことができます。



(上 p.2~3)

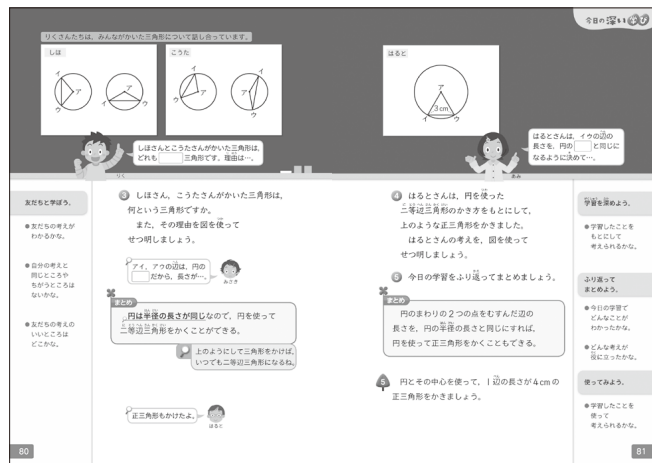


(上 p.4~5)

2 毎日の授業で、既習を生かして新たな問題を解決する力を育てます

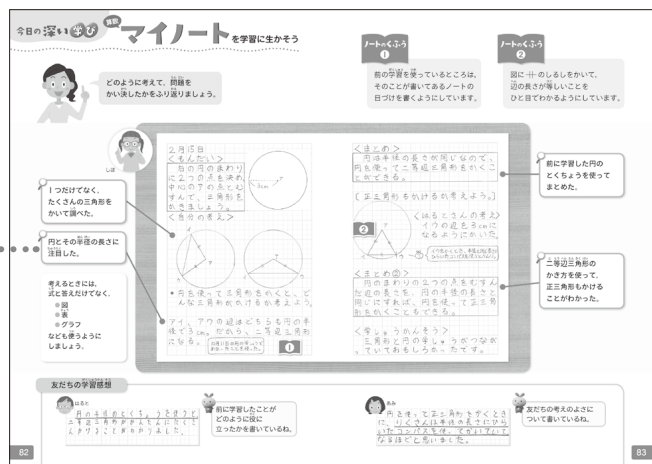
本教科書では、“どんなことに注目し、何をどのように生かして問題を解決すればいいのか”を考え実践する経験を重視しています。そこで、例えば、数学的活動をいっそう分かりやすく可視化したページ「今日の深い学び」では、側注で既習の想起を促したり、ノートを使って既習を生かした学びをふり返ったりすることを例示しました。なお、「今日の深い学び」は、**学年を通して3回設定**しています。数学的活動は、1つの決まった学習過程を意味しているわけではありませんので、それぞれの箇所、教材や指導のねらいに即した学習過程を可視化しています。(上15~19, 下13~17, 79~83)

本教科書の補助発問(1)や吹き出し等を用いて、**既習を生かして新たな問題を解決する経験を積み重ねることにより、生きて働く知識や技能の熟達**がなされ、さらに**学びを生かそうとする態度や学びを生かす力を育成**することができます。



(下p.79~81)

ノートの活用例として、問題解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を、ノートを見ながらふり返ることを示唆しています。



(下p.82~83)

特色

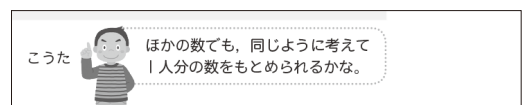
3 これからも、どんどん学び続けたいくなる

1 次の学びを創出し学び続けようとする姿を例示しています

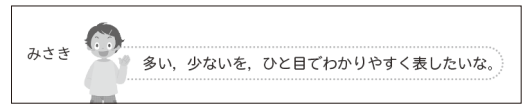
各時の終わりには、「学習のふり返り」として、次の学びをつくり出す児童の姿を例示しました。

「学習のふり返り」を用いて、**学びをつくり出そうとする態度や学びをつくり出す力を育成**することができます。

1 単位時間の学習の区切りのめやすとしてもご利用いただけます。



(上p.36)



(下p.92)

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	学びのとびら	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え表現することを積極的に促し、自主および自立の精神を育てるとともに、創造性を培えるようにしました。また、発達段階に配慮しながら、他者の考えを数学的に解釈したり互いに考えを検討したりする学習活動を促し、個人の価値を尊重したり道徳心を培ったりできるようにしました(各単元も同様)。(第1号、第2号) ・授業の際の規律として、自主的自立的に学ぶ段階、他者との協働で学ぶ段階、および各段階での着眼点等を例示し、授業における学び方を理解できるようにすることで、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上2～3 ・上2～3
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の日常生活を中心に多方面から素材を収集し、学びに向かう意欲を高め幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上34, 下90など各単元の導入
各単元	単元プロローグ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の日常生活を中心に多方面から素材を収集し、学びに向かう意欲を高め幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上27～32, 60～67, 下22～31, 90～102など
	各時の問題や学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の場面や問題の素材を、児童の日常生活を中心に他教科など多方面から収集し、学びに向かう意欲を高め幅広い知識と教養を身につけられるようにしました。(第1号) ・動植物や環境、安全への関心につながる問題の場面などを設け、環境や生命を意識できるようにし、自他の生命を尊重する心が育つようにしました。(第4号) ・男女の区別なくそれぞれの考えの妥当性を考察する場面や、他者と協働して行う活動などを数多く取り上げ、常に公平、公正な立場で他者と接する態度が身に付くようにしました。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上41, 45, 下30～31, 74, 90など ・上2～3, 16～17, 20, 60, 下14～15, 30, 80～81など
	囲み記事ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・単位やそろばんの歴史、用語に使用されている漢字の意味などを取り上げ、児童が学習で得た知識に関連づけながら、普遍的な算数・数学のよさや日本の文化や伝統に気づくことができるようにしました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上66, 130, 下105～107
巻末教材	ほじゅうのもんだい おもしろもんだい ふりかえりコーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・個の学習意欲やつまずきなど、必要に応じて自主的に取り組む際に活用する教材として設定し、個人の価値を尊重しながら能力を伸ばせるようにしました。(第2号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上133～151 下115～131

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 すべての児童が使いやすい紙面への配慮

①特別支援教育への配慮

- ・すべての文章において、**文節改行(文節の切れ目で改行)**を徹底し、文章を読み取りやすくして、文章の読解の段階でつまずく児童が算数の学習に取り組みやすくなるよう配慮しました。
- ・問題やまとめを**枠で囲む**、**重要用語にアンダーラインをひく**などして、一目でとらえやすくなるようにしました。
- ・**ページ番号を表す数字を、一目で他と区別できるデザイン**にしました。

②人権上の配慮

- ・ガイドキャラクターの性別を明確にしない、男子は青色の服、女子は赤色の服またはスカートなど、固定的なイメージで性の区別をしないように配慮しました。
- ・活動場面では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮しました。

③ユニバーサルデザインへの取り組み

- ・字体は、**独自に新開発したUD教科書体**を採用しました。このUD教科書体は、**従来の教科書体に比べてさらに太く、視認性をいっそう向上させた**ものです。
- ・すべてのイラスト、写真、図などを、**カラーバリアフリー**に取り組むボランティア団体の協力を得て**全ページに渡って点検**し、すべての児童に見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。

④造本上の工夫

- ・専用の軽量で丈夫な用紙の採用、上下巻分冊構成により、**重量による身体的負担の軽減**に配慮しました。

2 今日の課題への取り組み

⑤ご指導経験の浅い先生方への配慮(教材研究、教材準備などの支援)

- ・指導計画案、教材の解説、各時で働かせる数学的な見方・考え方の解説、展開案、評価規準、板書例、評価問題などで構成した教師用指導書を発行し、**教材研究の効果、効率を向上させ、PDCAサイクルの遂行を支援**します。
- ・指導者用デジタル教科書(教材)を発行し、**教材研究、教材準備の効果、効率の向上を支援**します。
- ・授業の**課題やまとめを原則として全時間に設定**し、本時の課題や到達点をとらえやすくしました。

⑥複式学級指導への取り組み

- ・関連する内容の単元をできるだけ同時期に配置して、**複式の年間指導計画を立てやすい**ように配慮しました(例:3年「わり算」と4年「わり算の筆算(1)」,3年「かけ算の筆算(2)」と4年「小数のかけ算とわり算」など)。
- ・巻末に「ふりかえりコーナー」を設け、**前の巻までの内容を児童が自力でふり返ることができる**ようにしました。複式指導の「わたり」などの際に有効に活用することができます(上150~151,下130~131)。

⑦道徳教育との関連への取り組み

- ・「学びのとびら」や「今日の深い学び」の授業のページでは、**他者の考えを検討する場面を示して、公平、公正に数学的な視点から検討**することをいっそう可視化しました。また、「算数マイノートをつくろう」「算数マイノートを学習に生かそう」では**他者の考えの長所を認めたり他者を参考に自分の考えを修正したりするなど、充実した集団での学びの姿を例示**し、これらを通して、**道徳教育に関連した指導ができる**ようにしました(上2~5,15~19,下13~17,79~83)。


⑧防災、安全教育への取り組み

- ・算数の学習を生かして防災無線が聞こえる範囲を考えたり、身のまわりの三角形の例として消防隊の侵入口のマークを取り上げたりして、**防災・減災や安全への意識を高める**ことができました(上127,下74)。

⑨キャリア教育への取り組み


- ・**いろいろな職業や生き方にふれる学習場面**を取り上げました(上28~30)。

⑩カリキュラム・マネジメントへの取り組み

- ・単元末「たしかめよう」側注の区切り線にを付し、15分間使用の場合の区切りの目安を示しました。これにより、単元末「たしかめよう」を15分×2コマ、「つないでいこう 算数の目」を15分×1コマ(計1単位時間45分)に3分割して短時間学習で使用するなど、**弾力的な時間割編成に対応できる**ようにしました。

3 その他の取り組み

⑪教育のICT化への取り組み

- ・問題解決における思考活動、統計学習の充実、わり算の熟達など、**学力向上をねらいとした無料***のデジタルコンテンツを豊富に用意しました。コンテンツが用意されている箇所には (ディーマーク)を配しています。そして、表紙裏ではマークの意味とコンテンツへのアクセス方法を説明するとともに、二次元コード、URLを掲載しました。いろいろな端末で、簡単に使用することができます。
※デジタルコンテンツを使用する際の通信費は自己負担となります。
- ・使用する際の留意事項(使用の際には、**まず先生や保護者に相談すること**)を明示しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-56	小学校	算数科	算数	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・301 算数・302	新しい算数 3上 新しい算数 3下	考えるっておもしろい! 考えるっておもしろい!	

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

考えることが、ますます楽しくなる

新学習指導要領では、「数学的な見方・考え方」を働かせることが学習の前提となっています。この「数学的な見方・考え方」は、単に一般的な言葉で分類・整理すれば働かせることができるものではありません。確かな教材研究に基づいた授業の文脈に即しながら明示し、価値づけることが大切であると考えます。

1 「数学的な見方・考え方」の明示を重視しています

① 各時のまとめ(🌸)～授業のゴール(まとめ)が変わります

知識や技能に加え、それらを獲得する過程で働かせた数学的な見方・考え方を🔍を付して明示し、価値づけます。このことにより、知識を統合したり、考えの共通性に気づいたりすることができ、考えること自体を楽しめるようになります。

② 問題解決の過程

各時のまとめで数学的な見方・考え方を明示し、価値づけるためには、問題解決の過程においてもそれらを価値づけることが欠かせません。

そこで、まとめにおいて価値づける数学的な見方・考え方の伏線となる児童の吹き出しや補助発問にも🔍を付して強調しました。

③ 単元末～単元のゴールが変わります

単元の出口を「知識を知っているか」「答えを求められるか」の確認にとどめず、各単元で働かせた数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返るためのページ「つないでいこう 算数の目」を新設しました。

各問題のタイトルでは、何に注目し、何を考えるのかを明示しています。

また、ここでは、当該の単元の内容以前の学習も含めて取り扱い、一見関係のないように見えるこれまでの学びと本単元の学びを統合的にとらえたり、数学的な見方・考え方が成長したことを実感したりすることができます。

3 小数のしくみとたし算、ひき算

1 ジュースが、大きいびんに0.3L、小さいびんに0.2L入っています。あわせて何Lありますか。

式

計算のしかたを考えよう。

🔍 0.3L、0.2Lは、それぞれ0.1Lの何こ分ですか。

まとめ

0.3+0.2は、0.1をもとにして、3+2の計算で考えることができる。

🔍 30+20は、10をもとにして、3+2の計算で考えることができるのと似たね。

(下 p.10)

学習のしあけ 小数

つないでいこう 算数の目 ～大切な見方・考え方

1 数のしくみに注目し、数の表し方を考える

右の図が表す数はいくつですか。こうたさんの考えをもとにせつ明しましょう。

こうた

0.1が11こある。0.1が1こ集まると1になって、1つ上の位の位につるから…。

整数でも、同じ位の数が10こ集まると同じように…。

2 もとにする数に注目し、計算のしかたを考える

次の計算は、どんな数をもとにすると3+4の計算で考えることができますか。また、計算のしかたをせつ明しましょう。

① 0.3+0.4 ② 30+40 ③ 300+400

(下 p.10)

2 学んだことを、いろいろ生かすことができる

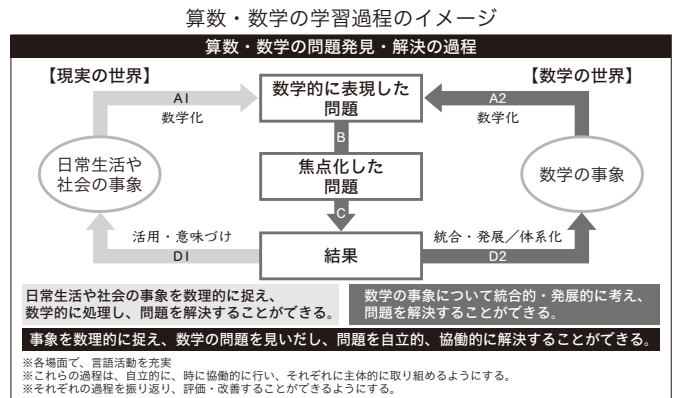
児童の学びは、学習内容の理解や熟達、学び方、問題を解決する際の着想や態度、学習規律など多岐に渡ります。新学習指導要領の教科目標の冒頭に位置づけられた“数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して”学ぶ姿の例として、“学びを生かす学び”をデザインし、具現化することで、深い学びが実現すると考えます。

1 これまでの“学び方”を価値づけ、生かすことを大切にしています

巻頭「学びのとびら」では、前学年の学習範囲で解決できる問題を解決します。主体的・対話的で深い学びの一例として、“中央教育審議会 教育課程部会 算数・数学ワーキンググループ”の資料にある学習過程のイメージ(右図参照)を具現化するとともに、各学習過程における大切な視点の例、思考力・表現力の育成に深く関わるノートづくりの例を取り扱い、今後の学習に生かせるようにしました(上2~5)。

授業開きとして、**数学的活動を通して学習規律を含めてふり返し**、以後の学びにそれらを生かすことができます。

また、「学びのとびら」を継いで主体的・対話的で深い学びを具現化した「今日の深い学び」では、授業ページを1ページ増やした3ページ構成として思考・表現する過程をより丁寧に取り扱いました(上15~19, 下13~17, 79~83)。「学びのとびら」「今日の深い学び」は、トピック的な取り扱いではなく、毎日の授業づくりのたたき台として活用することができます。



算数・数学ワーキンググループの資料をもとに自社で作成

2 各単元の導入で、既習をふり返し生かすことで、単元の学習課題をつくり出すことができます

各単元の導入では、日常の場面や既習を取り上げ、対話により単元の学習課題をつくり、主体的な学びのきっかけとするためのページ「単元ブログ」を設定しました。

既習事項を取り上げた単元では、既習をふり返し生かすことを通して、新たな課題をつくり出す力を育成することができます。

黄色の色網をしいた部分は、ページ上段の要素を用いて、どのような視点で対話し、課題をつくり出すのかを示唆します。

どんな数を学習したかな?

下の数を読んで、それぞれの位にあてはまる数字を書こう。

全校じどうの数 361人

図書館にある本の数 7598さつ

サマーランドの入場者数

数字のしくみ 150ページ

本日、8月20日のサマーランドの入場者数は10000人をおえしました。

これまでに学習した数と、まだ学習していない数について話し合ってみよう。

4けたの数までは学習したよ。 あみ

10000も学習したよ。10000は、を10こ集めた数だね。 しほ

10000より大きい数は、まだ…。 りく

(上 p.84)

大きい数のしくみ

8 10000より大きい数を調べよう

下の紙は、あるテーマパークで、ある日に売れた数の入場券です。

(上 p.85)

単元タイトルは、前ページでつくり出した単元全体の学習課題と位置づけています。

3 既習の内容や数学的な見方・考え方を、 新たな内容の熟達に生かすことを重視しています

例えば「分数とわり算」について、第2学年で既習の分数と、第3学年で学習したわり算の意味を関連づけることを新たに取り扱いました。このことにより、分数とわり算の意味を統合的にとらえ、それぞれの理解がますます深まるとともに、第4学年以降本格化する「割合」の学習の素地づくりにもなります。

80cmの $\frac{1}{4}$ の長さを求める。
 →80cmを4等分した1こ分の長さを求める。
 → $80 \div 4 = 20$ で、80cmの $\frac{1}{4}$ の長さは20cm。
 →ならば、20cmの4倍は80cm

分数とわり算を「等分」という意味で統合的にとらえ、相互に関連づけた深い理解がなされる。
 さらに、自然と割合の素地となる見方をすることになる。

2 分数とわり算

1 赤色のテープの長さは80cmです。
80cmの $\frac{1}{4}$ の長さは何cmですか。

80cmの $\frac{1}{4}$ の長さをもとめ方を考えよう。4等分するから…

① 式を書いて、答えをもとめましょう。

80cm

式 →

答え cm

まとめ

80cmの $\frac{1}{4}$ の長さは、80cmを4等分した1こ分の長さだから、 $80 \div 4$ のわり算の式でもとめることができる。

② 20cmの4倍の長さは何cmですか。

80の $\frac{1}{4}$ は20
 $80 \div 4 = 20$

(上p.116)

4 単元の学習後にも、学びを生かす力を育てる場を用意しています

新教育課程では、**数学的活動を規定するなかで、現実の世界、算数・数学の世界という2つの場における学習過程が強調されています。**そこで、原則として全単元の学習後に

- 単元末：学びを現実の世界で生かす「いかしてみよう」
- 巻末：学びを算数の世界で生かす「おもしろもんだいにチャレンジ」

のいずれかを設定しました。

学びを生かす経験の積み重ねが、生きて働く知識や技能の熟達や、学びを生かす力の育成につながります。また、活用、発展教材の開発の一助としても使用することができます。

特色

3 これからも、どんどん学び続けたいくなる

新学習指導要領の教科目標には、学習をふり返ってよりよく問題解決しようとする態度を養うことが位置づけられています。この目標の実現のためには、問題解決後に学びを価値づけ、新たな課題を見だし追究しようとする態度の育成が欠かせないと考えます。

1 各時の終わりに、学習を価値づけ、新たな学びをつくり出す児童の姿を例示しています

各時の終わりには、「**学習のふり返り**」として、

- ・学習を価値づける児童の姿
- ・次の学びをつくり出そうとする児童の姿

を例示しました。学習をふり返り、**次の学びをつくり出そうとする態度や、その際に働かせる数学的な見方・考え方を育成すると**

ともに、**評価の手がかり**とすることもできます。なお、単元末「**つないでいこう 算数の目**」の脚注においても、対話により単元全体の学習をふり返り、価値づけたり、次の学習を創出したりする姿を例示しました。

「まるい形を調べよう」の学習をふり返って話し合ってみよう。

コンパスを使って、円やきれいなまようをかくことができるようになった。



三角形などのように、円や球についても、きちんとせつ明できるようになった。

かいた円の、まわりの長さを調べてみたい。

5年でくわしく学習するよ。

(上p.132 「つないでいこう算数の目」脚注)

観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学的な判断に基づき他者の考えを解釈，検討することを重視しました。これにより，自他の価値を尊重してその能力を伸ばし，創造性を培えるようにしました。(全体) ● 単位やそろばんの歴史などを取り上げ，児童が学習で得た知識に関連づけながら，普遍的な算数・数学のよさや日本の文化や伝統に気づくことができるようにしました。(上 66, 下 105～107)
<p>学習指導要領の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学習指導要領(総則編)の基本方針である授業改善の推進を受けて，資質・能力の育成のための優れた研究や実践の成果をもとに紙面を編集しました。(全体) ● 小学校学習指導要領(算数編)に示された目標に則り，数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通した学習展開を重視しました。(全体)
<p>学びの 系統性・連続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 目次では，数学的な見方・考え方の関連も加味しながら，当該学年の学習内容の前後に位置づく学習内容を明示して学びの系統性や連続性を意識できるようにし，算数の学習における学びの地図として位置づけました。 ● 単元末「つないでいこう 算数の目」では，既習の学習も含めて数学的な見方・考え方を焦点化して取り上げ，以後の学習でも働かせようとする態度を養えるようにしました。(上 112, 下 89 など各単元末)
<p>組織・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習することに重点を置き，1つの学期に重い内容や確実な技能熟達の求められる内容が集中したり，同一領域の内容がいくつも連続したりしないように，単元の配列を工夫しました。(全体) ● 熟達に時間を要する内容は，2つの単元に分けて段階的に取り扱うようにしました。特に計算単元などは，練習の機会を増やすよう学期末や学年末の配置を避けるなどの配慮をしました。(「わり算」と「あまりのあるわり算」，「乗法の筆算」など) ● 練習問題は，本時の学習内容を適用して理解の確認や技能の熟達を確実にできるように，内容と時間を考慮して適切な分量を扱うようにしました。また，本文の練習問題とリンクした巻末教材「ほじゅうのもんだい」を設定しました。このことにより，知識・技能の熟達度合いの維持，向上はもとより，個に応じたつまずきへの対応をはかることができます。(全体)
<p>知識や技能の 熟達への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各時の展開において，数学的な見方・考え方を働かせて既習と当該の学習をつなぐことを強調し，知識や技能の断片的な詰め込みではなく，発達段階に配慮しつつ体系化しながら獲得することを重視しました。(上 76 まとめ, 下 11 まとめなど) ● 復習ページ「おぼえているかな？」を適宜設定しました。各種学力調査の分析結果をもとに問題を厳選し，熟達度合いを維持，向上させることができるようにしました。また，次単元のレディネスとなる問題にはじゅんひを付し，つまずきへの事前対応に活用できるようにしました。家庭学習でも活用できます。(上 26, 47, 113, 下 21, 35, 69) ● ICT 活用の一環として，つまずきが見られがちな「あまりのあるわり算」「桁数の揃っていない小数の加減計算」の熟達のためのデジタルコンテンツを用意し，該当の紙面には  を配しました。デジタルならではの即時的な正誤判定機能を有し，児童が楽しく飽きずに練習できるようにしました。(上 80, 下 12)
<p>思考力・判断力・表現力の 育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 思考し，表現する学習活動を適切に取り入れました。特に，思考を図や式に表す，読み取るといった学習活動を重視しました。(上 2～3, 15～17, 下 13～15, 79～81) ● ICT 活用への取り組みの一環として，問題解決の際に活用できるデジタルコンテンツを用意しました。思考活動の時間を長く確保し，自由度高く思考することができます。当該の紙面には  を配しました。(上 15, 35, 39, 下 79 など) ● 思考を表現する場としてノートづくりを重視し，巻頭「学びのとびら」ではノートづくりの基本的な事項を，単元内の「今日の深い学び」では，ノートを活用して本時で働かせた数学的な見方・考え方を主眼に思考を省察することを例示しました。(上 4～5, 18～19, 下 16～17, 82～83)
<p>学び続けようとする態度の 育成への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各時の終わりには，「学習のふり返し」として，学びを価値づけたり，次の学びを見いだそうとしたりする児童の姿を例示しました。(全体) ● 「算数マイノートを学習に生かそう」では，学びを省察し，次の学びを見通しをもって創出する学習感想例を掲載しました。(上 19, 下 17)

学習方法、展開の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭「学びのとびら」および「今日の深い学び」では、数学的活動をベースに自立的、協働的な学びをいっそう具現化しました。算数の学び方、および授業づくりの参考にさせていただきます。(上2～3, 15～17, 下13～15, 79～81) ●毎時の学習において、焦点化された課題(🎯)とまとめ(🌸)を位置づけ、課題と到達点を明確につかめるようにしました。(全体)
短時間学習への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●短時間学習による弾力的な時間割編成に配慮し、単元末「たしかめよう」側注に15分間ずつ分割して使用する区切りの目安を、🕒を付して示しました。
他教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●図形の英語での言い方の紹介箇所や、理科と関連の深い「重さ」の単元冒頭には🌐を付して、内容の関連を意識できるようにしました。(上123, 下23, 74) ●町探検、けが調べなどの場面を取り上げ、教科横断的な学習をできるようにしました。(上27～31, 下90～102など) ●属人的な判断ではなく、論理に基づいて判断することを積み重ねることで、自他の価値を尊重する態度を養うなど道徳教育との関連に配慮しました。(全体)
教育のICT化に伴う取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●思考力伸長、知識・技能の熟達、効果・効率の向上、統計学習の充実をテーマとし、多様な端末で使用可能なデジタルコンテンツを用意しました。(上15, 下79など) ●制度化された学習者用デジタル教科書を発行予定です。ビューアによる色反転や自動読み上げ、総ルビなどの機能を使用することで、特別支援教育にも効果的です。 ●指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル教材も発行予定です。
特別支援教育、ユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●色数を減らして落ち着きを出し、余白を生かしたレイアウトとしました。(全体) ●新開発の「UD教科書体」を採用し、文字の視認性を格段に向上させました。(全体) ●堅牢かつ軽量の紙を使用し、重量による身体的な負担の軽減に努めました。(全体) ●拡大教科書を、文字のポイント別に複数種類発行予定です。

2. 対照表

配当時間数計：156(予備時間数：19)

配当月	配当時間数	単元名	学習指導要領・内容名	該当箇所 (上巻)	
4	1	●学びのとびら	第2学年の内容	2～5	
	9	①九九を見なおそう	A(3) ア(イ)(ウ) イ(ア) 内容の取扱い(3)(4)	8～25	
	4	②時ごとと時間のもつめ方を考えよう	C(2) ア(ア)(イ) イ(ア)	27～33	
	9	③同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう	A(4) ア(ア)(イ)(ウ)(エ) イ(ア)(イ)	34～46	
	5	8	④大きい数の筆算を考えよう	A(2) ア(ア)(イ) イ(ア) 内容の取扱い(2)	48～57
		1	●考える力をのばそう	A(2)(7)	58～59
	6	8	⑤長い長さをはかって表そう	C(1) ア(ア)(イ) イ(ア)	60～69
		3	⑥数をよく見て暗算で計算しよう	A(2) ア(イ) イ(ア) 内容の取扱い(2)	70～73
	7	7	⑦わり算を考えよう	A(4) ア(ア)(イ)(ウ)(エ) イ(ア)(イ)	74～83
	9	10	⑧10000より大きい数を調べよう	A(1) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) 内容の取扱い(1)	84～97
11		⑨大きい数のかけ算のしかたを考えよう	A(3) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) 内容の取扱い(2)(4)	98～112	
10	4	⑩わり算や分数を考えよう	A(4) ア(オ) イ(ア)(イ) A(6) ア(ア) イ(ア)	114～117	
	1	●どんな計算になるのかな?	A(2)(3)(4)	118～119	
	8	⑪まるい形を調べよう	B(1) ア(ウ) イ(ア) 内容の取扱い(6)	120～132	
				(下巻)	
11	12	⑫数の表し方やしくみを調べよう	A(5) ア(ア)(イ) イ(ア)	2～20	
	9	⑬重さをはかって表そう	C(1) ア(ア)(イ) イ(ア) 内容の取扱い(7)	22～34	
12	10	⑭分数を使った大きさの表し方を調べよう	A(6) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) 内容の取扱い(5)	36～49	
1	4	⑮□を使って場面を式に表そう	A(7) ア(ア) イ(ア)	50～57	
	10	⑯かけ算の筆算を考えよう	A(3) ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア) 内容の取扱い(2)	58～68	
2	3	●倍の計算	A(3)(4)(7)	70～73	
	8	⑰三角形を調べよう	B(1) ア(ア)(イ) イ(ア) 内容の取扱い(6)	74～89	
3	10	⑱わかりやすく整理して表そう	D(1) ア(ア)(イ) イ(ア) 内容の取扱い(8)	90～104	
	2	●そろばん	A(8) ア(ア)(イ) イ(ア)	105～107	
	1	●考える力をのばそう	A(3)(7)	108～109	
	3	●3年のふくしゅう	A～D	110～114	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-56	小学校	算数科	算数	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2・東書	算数・301 算数・302	新しい算数 3上 考えるっておもしろい！ 新しい算数 3下 考えるっておもしろい！		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
上145	同じ数ずつ分けるときの 計算を考えよう 問題1	1	第5学年2内容A数と計算(1) ア(イ)「約数、倍数について知ること。」 イ(ア)「乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。」	1
上146	わり算を考えよう 問題1	1	第5学年2内容A数と計算(1) イ(ア)「乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。」	0.5
下126	分数を使った大きさの 表し方を調べよう 問題1	1	第4学年2内容A数と計算(5) ア(ア)「簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ること。」 イ(ア)「数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かすこと。」	0.75

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容